



小田 新紀
議員
(拓政会)

問 「幕別町教育の日」の取組について

答 効果的な周知方法について検討しながら本事業を継続する

問

「幕別町教育の日」制定から10年、参観に来られる方の人数は伸び悩み、参加者が固定化されている。学校としても、多くの方に来校してほしいと願う一方で、不審者の侵入等に対する十分な安全対策に課題が残るとも聞く。また、本来は学校側の自由な取組ができるようにと、憲章という形式で制定したものが、近年教育委員会側から教育の日に合わせて「ノーテレビデー・ノーゲームデー」を指定。さらには、その実施の有無について調査を求めている。教育現場への負担が増加している。本来の趣旨に基づき見直しが必要と考え、以下の点について伺う。

(1) 町民の意識向上への啓発方法ならびに不審者等に対する危機管理方策について。

(2) 教育の日に合わせて「ノーテレビデー・ノーゲームデー」のアンケート調査を含む実施の有用性について。

教育長(1) 「教育の日」に合わせ

て食育等の出前授業を組み、保護者や地域住民に参観していただくなど、各学校で工夫を凝らしながら来校者の増につながるような取組を行っているとともに、学校前に教育の日の看板を掲示したり、毎月発行の学校だよりを活用して、周知活動に努めている。

さらなる啓発活動として、昨年度から始めた町のホームページによる周知のほか、今後、毎月19日に「教育の日」を実施している旨を周知するための「のぼり」やポスターの作成、来校者が多い学校の取組事例を町広報やホームページ等で紹介するなど、町民に関心を持ってもらえるような情報発信に努めるなど、効果的な周知方法について検討していきたい。

「教育の日」における不審者等の対策については、管理職等による玄関での受け付けや、来校者名簿の記載、来校者ネームの着用などにより、不審者の侵入を防ぎ児童生徒の安全確保を図りつつ、「教



教育の日に行われた「アイヌ文化を知ろう」の授業風景（白人小学校）

育の日」の趣旨をなるべく損なわない範囲で学校を開放している。

(2) 本町では平成26年度から「教育の日」の午後6時から10時の間の2時間を「テレビを見ない、ゲームをしない時間」として定め、家族団らんの時間、読書の時間、勉強の時間など、それぞれ工夫した時間の過ごし方を行うよう実践している。

事業の実施状況を把握するため、6月と11月に各学級担任がホームルーム等で児童生徒に確認するとともに、効果等について意見

を聞くほか、保護者には、授業参観日やPTAの役員会等を活用し意見等を聞いている。また、実施状況及び意見等については、教育委員会で作成するとともに、各学校にフィードバックし、児童生徒の学力向上や生徒指導等に活用してもらっている。

肯定・否定的な意見を含め、当該事業への反響は大きく、保護者や児童生徒が、家族の行動等を考える時間を持てたことは、大変意義深いものと認識している。

今後とも、教育の日に合わせて「ノーテレビデー・ノーゲームデー」を実施し、その結果を分析するとともに、さらに多くの方々が日常の話題として取り組んでもらうことが、子供たちの健全な育成を図る上で重要であると考えており、引き続き本事業を実施していきたい。

再質問 調査への分析結果が出ている中で、さらなる調査の必要性は。

答 2年間の分析はできているが、そこからさらにつなげて健康状況がどうなったとか、学力がどうなったというところの分析までには、まだ達していない。データを積み上げていくことが必要と考えている。